

視覚が目覚める 両眼開放訓練

実践編

日時: 2016年6月24日(金) 18:10~19:10

会場: 第2会場(パシフィコ横浜 会議センター 301+302)



座長

不二門 尚 先生
(大阪大学)

弱視の治療法の基本は、屈折矯正と遮閉訓練(またはアトロピンペナリゼーション)として確立しているが、片眼遮閉は両眼視の発達という観点からは、必ずしも最適な方法とは言えません。Occlu-padは、両眼開放で訓練ができる新しい眼科機器で、枠は両眼視できるので自然視に近い状態での訓練が可能です。

また、弱視の程度によりゲームの種類を変えることが可能で、興味を持って被験者が治療に参加できる点も特徴となっています。本講演では、Occlu-padを用いて訓練を行った具体的症例と訓練指示に至るプロセスについて、石川均先生に、訓練導入実績とその考察について、導入時期が異なる3施設から、上村景子先生、伊藤博隆先生、戸塚悟先生にご講演頂きます。皆様奮ってご参加ください。

演題1 具体的症例と訓練指示に至るプロセス



演者1

石川 均 先生
(北里大学医療衛生学部)



演題2 両眼開放訓練導入実績とその考察



演者2

上村 景子 先生
(新川中央眼科)



演者3

伊藤 博隆 先生
(刈谷豊田総合病院)



演者4

戸塚 悟 先生
(北里大学)